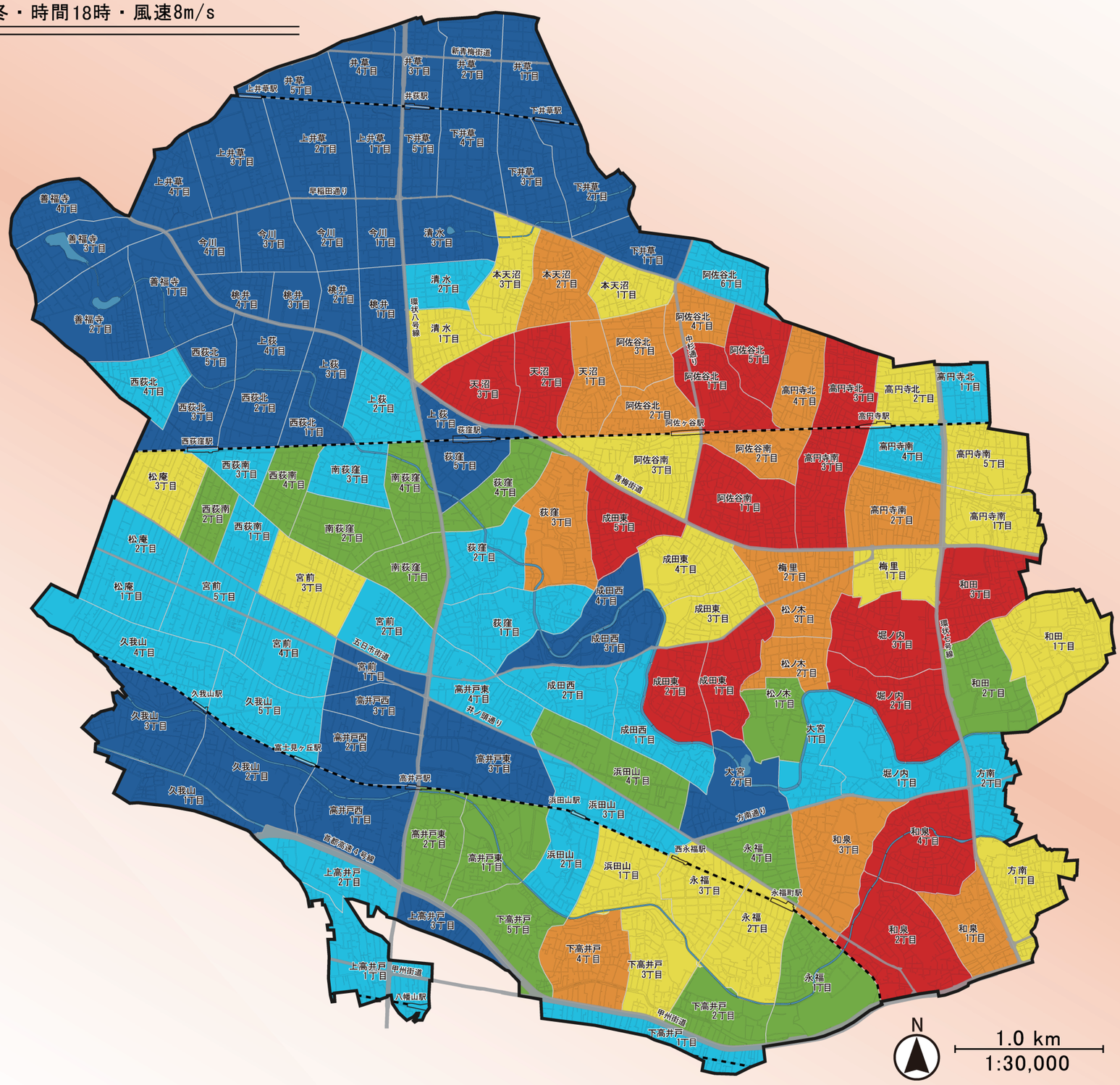
現況(※1)における 避難者予測図

想定地震：東京湾北部地震(M7.3)
冬・時間18時・風速8m/s

地震被害シミュレーションは、地震の規模や震源地、発生時刻や風速など、一定の条件を設定して行った想定の一つです。
実際の首都直下地震の被害は、今回の想定結果と比べて小さい場合もあれば、大きい場合もあります。
この結果だけにとらわれず、大規模な地震に備えていくことが大切です。



現況被害想定

地震が発生したら…

区内の避難者数は、

100,380 人

揺れが強く、建物被害や焼失被害の多い地域は、避難者数も多くなるというシミュレーション結果となっています。

凡例：町丁目別避難者数

- 1500 人以上
- 1200-1500 人未満
- 900-1200 人未満
- 600-900 人未満
- 300-600 人未満
- 0-300 人未満

今回のシミュレーションについても、平成 28 年度の調査同様、杉並区全体を 50m メッシュ（50m×50m）単位で区割りして被害想定を行ったうえで、その結果を町丁目単位で集計し評価することにより、被害想定結果をより身近なイメージとして分かりやすくとらえていただけるように示しています。

（※1）現況：平成 28 年度の地震被害シミュレーション（建物被害編）の結果及び平成 29 年度の人口データをもとにシミュレーションしています。

2018 年 10 月 1 日公表版